

指定 無形文化財

工業技術 鍛金

保持者 **菅原悦夫さん** (町屋4丁目)

金属の板を叩いて加工する鍛金の技術は、弥生時代に中国大陸等から伝来し、装身具・馬具・仏具・武具に用いられてきました。近世、江戸において、その技から生み出された銀器が流行しました。現在では、主に食器などの製造に用いられています。
菅原さんは、鍛金の技術で、金属板を熱しながら叩いて成形して、大型の花器等の展示用作品や、急須や洋食器などの日常使いの製品を手がけています。



菅原さんは岩手県矢巾町生まれ。平田禪之丞を祖とする銀器の流派・平田派の流れを汲む職人の小川友衛氏の下で、昭和32年(1957年)より修業し技術を修得しました。

あらかわの文化財

長い歴史の中で生まれはぐくまれ 守り伝えられてきた

区は、荒川区文化財保護条例に基づいて、区内の貴重な文化財を保護・継承するために、文化財を指定・登録しています。今号は、平成28年度に登録・指定した文化財を紹介いたします。
問合せ 荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234



登録 無形文化財

工業技術 提灯文字

保持者 **前森宏之さん** (町屋5丁目)

提灯文字の技術は、江戸時代にさかのぼります。19世紀の絵画資料に提灯文字の職人が描かれています。前森さんは、火袋に文字や家紋を書き、枠などの付属品を取り付けて提灯に仕上げます。主に祭礼や葬儀、飲食店などの看板に用いられる高張提灯と弓張提灯を手がけています。



前森さんは荒川区荒川生まれ。前森英世氏(元区指定無形文化財保持者)の子息で、昭和60年(1985年)より父の下に従事し技術を修得しました。

登録 有形文化財

絵画 板本着色平経正竹生島詣図絵馬

所蔵者 **延命院** (西日暮里3丁目)

「平家物語」の竹生島詣を画題とした大絵馬。琵琶の名手・平経正が木曾義仲を討つために出兵し、琵琶湖の竹生島で戦勝祈願をした際に、琵琶を演奏した場面を描いたものです。七面明神(区登録有形文化財)が安置されている七面堂内に納められています。この絵馬は、一般公開されていません。
江戸時代の画家・狩野意信が描き、天保11年(1840年)に狩野意信が再彩色(補彩)しました。



指定 有形民俗文化財

山富講下谷講社富士講用具

所蔵者 **通新町睦** (南千住)

富士山を信仰する人びとの集団を富士講といいます。かつて区内にはいくつかの富士講がありました。この用具は、大マネキ(講の目印となる旗)、収納箱、付属品からなり、下谷通新町にあった富士講「山富講」が使ったものです。
下谷通新町の富士講は、天保9年(1838年)に現れ、大正5年(1916年)まで続いたと思われます。湯屋や木具職・鍛冶職・壁職を営む通新町在住の商職人を中心とした人々による富士講でした。



指定 有形民俗文化財

丸生講尾久講社富士講用具

所蔵者 **荒川区教育委員会**

尾久の「丸生講」という富士講で使った用具です。大マネキ、紙マネキ、丸生講の講印と「下谷忍ヶ岡」と大きく書かれた収納箱、古文書からなります。古文書から、下谷忍ヶ岡(台東区)から尾久の講社に用具が譲渡されたことが分かります。
代々、尾久の旧家で、富士講の指導的役割を果たしてきた小泉家(東尾久5丁目)に伝承されてきました。



内容及び名称変更 指定有形文化財

考古資料 日暮里延命院貝塚出土品

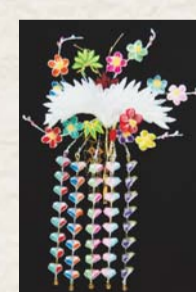
所蔵者 **荒川区教育委員会**

日暮里延命院貝塚(西日暮里3丁目)は、大森貝塚について東京で2番目に発見された縄文時代後期の貝塚として考古学史上、有名な遺跡です。貝・魚・獣等の動物遺体が多数出土し、土器・土製品・石器・石製品・骨角製品・貝製品が多数出土しています。
遺跡の特徴をより明確にするため、日暮里延命院貝塚出土品一括の中から、遺存状態が良好で、代表的な出土品を70点選出し、指定有形文化財としました。



新たに購入した伝統工芸品と伝統工芸技術記録映像

区では、戸村絹代さん(平成27年度区指定無形文化財「工芸技術・つまみかんざし」保持者)が製作したつまみかんざしを購入し、「速報!あらかわの文化財展」で展示します。
また、製作工程を映像化した記録映像(DVD)「伝統に生きる—あらかわの工芸技術—」を制作しました。各図書館で貸し出しています。



記録映像「伝統に生きる」上映会



鑑賞後、戸村さんからつまみかんざし製作について、お話を伺います。
期日 **5月3日(祝)**
時間 **午後1時30分～2時30分**
会場 **荒川ふるさと文化館地下1階視聴覚室**
定員 **30人(申込順)**

速報!あらかわの文化財展

平成28年度に指定・登録した文化財や新たに収集した資料等を展示します。

期間 **4月29日(祝)～6月4日(日)** ※(月)は休館
時間 **午前9時30分～午後5時**
※入館は、午後4時30分まで
場所 **荒川ふるさと文化館1階企画展示室**
入館料 **100円**
※区内在住の中学生以下・65歳以上・障がい者とその介助者は無料
※5月20日(土)・21日(日)の「あらかわ家族の日」は、区内在住の中学生以下のお子さんと一緒に来館した家族は無料

学芸員による展示解説

期日 **4月29日(祝)、5月27日(土)**
時間 **午後1時30分～2時10分**

はばたけ!若手職人作品展

「荒川の匠成事業」では、江戸の伝統や文化を未来に伝えるために、伝統工芸に関心があり、職人さんへの弟子入りを希望する若者をサポートしています。
師匠のもとで日々修業に励む若手職人の皆さんを紹介するほか、3月に修了した寄席文字・勘亭流文字・江戸文字、額縁の若手職人に加え、満3年以上修業を積んでいる額縁、指物、漆塗、手描友禅の若手職人の作品等を展示します。「速報!あらかわの文化財展」と同時開催です。

若手職人による展示解説

期日 **5月3日(祝)**
時間 **午後2時40分～3時20分**

日暮里の養福寺の平安仏・木造二天王立像が公開

東京国立博物館に寄託中の養福寺(西日暮里3丁目)の区指定有形文化財・木造二天王立像(伝鹿沙門天像と伝持国天像)が同館で展示公開されます。

期間 **5月9日(火)～7月23日(日)**
※(月)は休館
時間 **午前9時30分～午後5時**
※入館は、午後4時30分まで
会場 **東京国立博物館本館1階第11展示室(台東区上野公園13-9)**
観覧料 **一般620円、大学生410円**
※高校生以下・18歳未満・70歳以上の方・障がい者とその介助者(各1人)は無料(年齢がわかるもの、障がい者手帳を提示してください)



荒川ふるさと文化館のお知らせ

5月2日(火)にあらかわ伝統工芸ギャラリーがオープン
荒川ふるさと文化館1階の郷土学習室をリニューアルし、伝統工芸技術の魅力を区内外へ発信する「あらかわ伝統工芸ギャラリー」がオープンします。
開室時間 **午後2時～5時**
※5月3日(祝)以降は、午前9時30分～午後5時
内容 **伝統工芸技術の実演・体験等**

休館日のお知らせ
4月から、収蔵資料の整理等を行うため、毎月第2(木)は休館日です。
休館日 (月)、毎月第2(木)、年末年始
※(月)が祝の場合は開館、翌日休館